

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

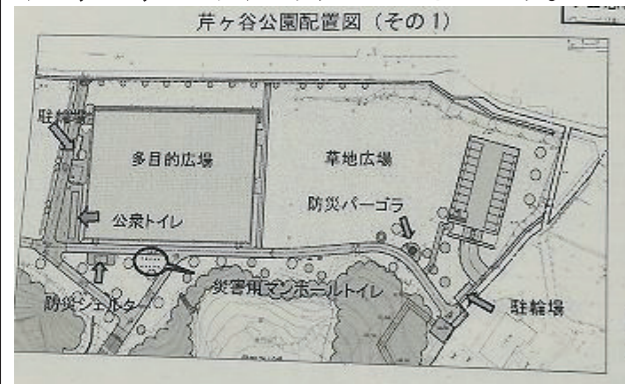
町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守の会会派室
自宅☎042-795-7361



7 期目の議会活動

芹ヶ谷公園整備について

今期の予算案に「芹ヶ谷公園整備工事（その1）」があります。このメインテーマの工芸美術館の建設は市議会が多数で否決し、市長の思惑は外れましたが、周辺の整備は必要不可分の開発があり、その工事契約金額議案（267,466,212円）が出てきたものです。



ただし、これまた当初の計画では大型の駐車場が整備される計画がありましたが、その場所に沿った道路幅が狭く、しかも急坂になっていることでその駐車場設置には地元からクレームが出て、一定の方針変更がなされたものです。新しい資料を見ると、その場所は「多目的広場」と「草地広場」とされており、さらにその注記に、その双方を臨時駐車場と使用する予定が書かれています。

行政としては地元配慮した格好ですが、その道路の拡幅は現実的に難しく、根本的には JR 町田駅から延伸したモノレール予定路線の道路が確保されない限り、公園内に大型駐車場を開設することは容易ではないでしょう。後は、地元の要望（交通混雑）に対し、行政がある時点で当初の方針を再び持ち出すかどうかにかかっていると思います。

総合防災訓練で新たに知る事

今年の総合防災訓練はひと際暑い環境で実施されました。来賓挨拶や紹介がずいぶんカットされましたが、実質本位で好ましい傾向だと思いました。

会場の新しい機器紹介では、プロパンガス協会が都市ガスのコンロにプロパンガスを使って都市ガス化する装置を展示されていました。基本的構造では途中で過分に空気を供給してその都市ガスへの変換を図ったものとの説明でした。プロパンガスの特徴は、震災時にボンベを目的地に供給するだけで燃料として使用することができ、管路の修復復旧を必要せず、ライフラインを維持することに効果的だと再認識できました。エネルギー源の分散化を図り、震災時の立ちがかりを早くする方法が取られるべきでしょう。

また、段ボールを材料にした仮設ベットや、エアキャップを利用した簡易布団を実際に使用してみました。阪神大震災、中越地震、東日本大震災などを経て、避難所7の設備対応も高度化した用具が開発されている様子が詳しくわかりました。



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅042-795-7361



「保守の会」所属議員

町田駅周辺はきれいか、汚いか

市議会の一般質問の一つに取り上げた問題です。町田市中心部にモノレールが開通する目標を市長は早くも14~16年と見込みました。それに合わせて、町田駅周辺の様相も大きく変わってくることを期待しています。それでは、その時期まで町田駅周辺の改修を図らず、劣化させていくばかりなのでしょう。これからは町田駅周辺が近隣の都市の開発に埋没していくかの分岐点になっていると思います。



こうしたことを問題にするのは、町田駅周辺と比べて、近隣の立川駅、新百合ヶ丘駅、相模大野駅周辺などが大きく変貌したことにあります。つまり、それらはすっきりしたビル群が並び、それらを結ぶ明るい通路が目立つようになりまし。

私は、JR 町田駅と小田急町田駅を結ぶペDESTリアンデッキと地上通路の天井を明るく装い、夜の照明も夜半までは明るさを確保することが第一要件と思っています。そのため出費は、都市中心部の華やかさを確保するための必要経費だと考えて提案を進めて行きます。

町田市倫理法人会で講演

今は市議会7期目の第3回目の定例会に当たります。先日、一般社団法人 倫理研究所の東京都町田市倫理法人会（会長：澤山長宏氏）の定例会において、議長職について講演をさせていただきました。その議長職は今年の3月8日まで務めたわけですが、第35代議長にはどのようにして選出されたか、その仕事はどのようなものであったかを総括して述べたものです。実際に1時間ほどの時間をかけて説明したのは初めての事です。

私の議長選出は、政党に入らず無所属の議員としては初、最小会派議員としても初の議長でした。大西宣也議員が会派結成の時期から困難な取り組みに固い意志を示し、大胆不敵に議長選出の主導権を取ってくれたことが最大の要因と理解しており、会派の結束も確実でした。大西議員には「恩義」を感じ、今後とも「信義」で接したいと思っています。

さらに議長在任中の取り組みでは、高校生との意見交換会の開催を推進し、実現に至りました。議会の活性化では、都内トップの評価を継続し、全国評価も10位にアップしました。市長との関係では、執行機関と議決機関の対等な関係性を高めました。後は今後の議長に託したいと思っています。



★ 政党無所属・市議会は保守の会

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）



メール送信

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート⑧ 宇都木彩名

今年 9 月 22 日に町田市民ホールでクトロヴァッツコンサートが開催されます。このコンサートの後援はオーストリア大使館が行っています。本日私は吉田議員、新しいインターン生の二人と共にオーストリア大使館を訪問しました。



オーストリア大使館はビザの発行や在留許可申請、オーストリア人のパスポートの更新などのために利用することができる機関です。またオーストリアの魅力を伝えるため、オーストリアで活躍しているアーティスト達を招き大使館でイベントも開催しています。私にはオーストリアの音楽と言えばクラシックという印象がありました。しかし実際はロックや実験音楽など多様なジャンルのアーティスト達が招かれています。その中には日本語ポップスという、非日本人がオーストリアのメロディに合わせ、日本語を歌唱するという音楽もありました。この音楽ジャンルは国境や言語を超えて生まれたものです。芸術というものは世界共通であり、そこから他国への興味に繋がるのは良いことだと感じました。

日本は伝統的な芸能や芸術を重宝するのに対し、オーストリアは現代の芸術を大切にしています。他国の文化、芸術に触れることで、日本では発見できない魅力を見つけることができます。是非、町田市民ホールで行われるピアノ・デュオ・クトロヴァッツコンサートに足を赴き、普段触れることのできない魅力を感じてみてはいかがでしょうか。

津田塾大学 2 年 宇都木彩名(第 39 期生)

研修レポート⑨ 林 夏碧

今日は私のほか 2 名のインターン生と一緒に午前中にオーストリア大使館、午後国会(参議院)を訪問しました。大使館では、オーストリアの音楽などについてお伺いしました。オーストリアで音楽と言うとクラシックを思い浮かべますが、エレクトロ・ポップ、実験音楽と今まで耳にしたことのない音楽のジャンルをたくさん耳にしました。来る 9 月にピアノ演奏会を控えているため、興味・関心をもってお話を聞くことが出来ました。参議院では議員秘書の方に昭和期・現代の日本の政治についてお話を伺いました。時代の変化を目撃した方が語ったことは教科書からの学びよりも臨場感に溢れていました。



昭和女子大学 1 年 林 夏碧(第 42 期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

研修レポート① 永濱 一久



町田市議会の吉田つとむ議員のインターンシップの初日を迎えました。普段のアルバイトや学校とは違った雰囲気には押し寄せ緊張しつつ、これからお世話になる町田市の職員の方々への挨拶から一日は始まりました。まずは日大三高の甲子園進出のセレモニーを市役所で観覧。ここ町田から日本のライバルたちに挑む戦い、町田を背負って最大限頑張りたいです。午後は吉田さんの議員としての業務を拝見する前に、昼食を千寿閣のレストランでいただき英気を養いました。市役所に戻り事務作業や講演会の資料作成まで様々な業務をこなす政治家は単に政策を考えるだけではなくその他多くの業務があることと分かりました。まだまだ未熟ですが



明治大 3 年生 永濱 一久(第 42 期生)

これらのレポートで成長する姿を伝えていけたらと思っております。

研修レポート⑩ 立木 優花

美術品鑑賞のため、東京都美術館のプーシキン美術館展(旅するフランス風景画)へ行きました。神話の物語や古代への憧憬・身近な自然・大都市パリの都市風景など幅広い内容になっており、17 世紀から 20 世紀の風景画 65 点の作品を鑑賞しました。時が経つにつれ、風景画の題材や色彩・描き方などの傾向が変化していき、とても興味深い作品ばかりでした。細部まで丁寧に描かれていて、まるで写真のように見える作品もあり、その時代にタイムスリップしたように感じました。

私が印象に残っている作品はクロード・モネの草上の昼食です。風景の中の一部の木々は巧みな筆遣いにより何色かの絵の具が重ねられ、木漏れ日とのコントラストがきれいに表現されていました。メッセージ性のある絵も多く、様々な想像が膨らみました。普段、芸術に触れる機会が少ないため新鮮な経験となりました。



東京家政大 3 年生 立木 優花(第 41 期生)

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ(自宅)